



# 事業のご報告

2017年3月期 第2四半期  
(2016年4月1日～2016年9月30日)

リコーリース株式会社 [証券コード：8566]

RL-Info .....	1
トップメッセージ .....	3
リコーリース 40年の歩み .....	5
連結業績のご報告 .....	7
教えて! リコーリース .....	10
特集① リース・割賦事業 .....	11
特集② 金融サービス事業 .....	13
IRひろば .....	15
CSRトピックス .....	17
会社情報・株主情報 .....	18

## リコーリースってどんな会社？

「リース・割賦事業」、「金融サービス事業」の2つの事業を軸に、総合的なフィナンシャルサービス※1を提供しています。

### リース・割賦事業

ファイナンス・リースを中心に、お客様の事業に必要な設備導入を支援しています。

#### リコー 関連

#### リコーグループの 販売を支援

- 複写機・複合機
- プリンター
- 印刷機
- LED照明
- プロジェクター



#### 重点分野

#### お客様のニーズに応じた さまざまな設備導入を支援

- 事務用機器・情報関連機器
- 医療機器
- 環境関連機器
- 車両・輸送用機器
- 産業工作機械



### 金融サービス事業

多種多様な金融サービスを提供し、お客様の課題解決をサポートしています。

#### 金融 サービス

#### お客様へ付加価値の高い サービスを提供

- 個人・法人向け融資
- 集金代行サービス
- 介護報酬  
ファクタリングサービス
- リコーグローバルマネーカード



事業領域を  
拡大中です！

リコーリースの法則くん



取扱高※2の内訳

リース・割賦事業

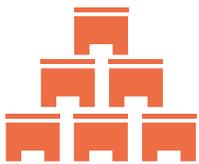
金融  
サービス  
事業

リコー関連 **40%**

リコー関連以外 **60%**

数値でわかる! リコーリースの特長

営業資産 **7,639**億円 (2016年9月末)  
(前期末比114億円増)

取引社数	中小企業比率	信用格付※3
<p><b>40</b>万社 日本企業の約10%</p> 	<p><b>98%</b></p> 	<p><b>AA-</b> JCR(日本格付研究所)</p> <p><b>A+</b> R&amp;I(格付投資情報センター)</p> <p><b>A-</b> S&amp;P(Standard &amp; Poor's)</p>
<p>中小企業中心のお客様基盤</p>		<p>好条件での 資金調達を実現</p>

<p>取引 ベンダー※4数</p> 	<p><b>6,000</b>社</p>	<p>ベンダーとの連携により 販売支援リースを展開</p>
<p>平均 契約単価</p> 	<p><b>210</b>万円 100万円未満の契約数：7割</p>	<p><b>少額</b> 貸し倒れリスクが分散された 優良な営業資産を形成</p>
<p>業務処理 件数</p> 	<p><b>120</b>万件/年</p>	<p><b>大量</b> 高効率・高品質な業務処理 ITシステムの活用や日々の業務改善により、 効率良く大量の業務処理を行う体制を構築</p>

※1 **フィナンシャルサービス**：当社が提供する商品・サービスの総称  
 ※2 **取扱高**：リース、割賦および融資を開始した金額の合計  
 ※3 **信用格付**：格付会社が企業業績や財務内容などの分析を行い、企業が発行する債券の元本や利払い能力の安全度を評価し、記号で順位付けしたもの  
 ※4 **ベンダー**：リコーグループの販売会社、医療機器、環境関連機器等を扱うメーカーや販売会社



優良な営業資産の着実な積み上げにより、  
四半期純利益は2期連続で過去最高を更新しました。

代表取締役 社長執行役員 瀬川 大介

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや経済対策を下支えに、力強さは欠きながらも緩やかな回復基調を維持しています。ただし、円高や海外経済の減速、インバウンド消費の落ち込みなどを背景に、企業収益下振れへの警戒感は根強く、不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社は引き続きベンダー営業を軸として、収益性を重視した優良資産の増大と新しい成長領域の構築を図りました。総取扱高は前年同期並みの1,825億円となりましたが、営業資産残高は前期末に比べ114億円増加し、7,639億円となりました。

その結果、売上高は前年同期比6.3%増加の

1,448億円と7期連続の増収、営業利益はリース・割賦事業が順調に伸長したことにより、前年同期比5.3%増加の88億円と過去最高となりました。四半期純利益は、前年同期比9.6%増加し60億円と第2四半期において過去最高を更新しました。

なお、中間配当金につきましては、1株当たり2.5円増配の30円とさせていただきます。通期では60円と、22期連続の増配\*を予定しております。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

※2000年3月期の株式分割による実質増配を含みます

「親会社株主に帰属する四半期純利益」および「親会社株主に帰属する当期純利益」をそれぞれ「四半期純利益」、「当期純利益」と表記しています。

■売上高・四半期純利益



■配当金 (年間配当金)



## マイナス金利の影響について

日銀による2013年からの異次元の金融緩和政策は一定の成果をあげたものの、昨今の世界的な景気減退の流れを受けて今年2月、マイナス金利政策がスタートしました。

市場金利の低下により当社の資金調達費用も下落傾向にはあるものの、そのメリットの享受はすでに限定的なものとなっております。一方で、行き所を失った一部の資金は金融機関に滞留し、リース会社を含めた金融機関同士の競争が激化しているため、営業面では厳しさが増しております。

そのような環境のなか、当社では量のみを追うことなく、質の良い営業資産を着実に積み上げていくことで、強固な財務体質を維持しております。現在のところ、日本における物価上昇や景気回復の実感はなく、金利が低い状態はしばらくの間継続すると見込まれますが、機動的な財務戦略と堅実な営業方針を遂行することで、企業価値の向上に努めてまいります。



## 中期経営計画の進捗について

当期は中期経営計画(以下、中計)の最終年度になりますが、売上高については目標を50億円上回る2,850億円を見込んでおります。当期純利益については前期にすでに中計目標を前倒しで達成しましたが、当期はそれを上回る115億円を予想しております。

目標の達成に向けて、中計スタート時に策定した「事業」「プロセス」「人財」の3つの改革を着実に進めております。「事業」については医療・介護分野や環境関連分野、金融サービスなどの新規事業が育ってきております。「プロセス」についてはコーポレートガバナンス体制の整備や組織の再編など、事業環境に応じた体制の変革を進めてきております。また「人財」については、人事制度の改革やダイバーシティの推進など、社員が働きやすい労働環境でやりがいをもって仕事ができる仕組みを構築してきております。

これらの取り組みにより、本中計の目標を確実に達成し、次期中計でさらに成長していくための基盤が整いつつあります。

### ■連結業績予想

(単位:億円)

	2016年3月期 (実績)	2017年3月期(予想)	
			前期比(%)
売上高	2,758	2,850	3.3
営業利益	169	173	2.1
当期純利益	110	115	4.1

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なる場合があることをご承知おきください。

# 2016年12月、リコーリースは 創立40周年を迎えます

おかげさまで  
**40<sup>th</sup>**  
Anniversary

これもひとえに、株主の皆様をはじめ当社を取り巻くすべての方々のご支援の賜物であるとともに、社員一丸となって努力を重ねてきた結果であると考えております。今後も皆様のご期待に添えるよう、企業価値向上に一層努めてまいります。



## 1972年

リコーPPC900発売  
(リコー初の普通紙コピー機)



**1976年**  
『リコークレジット』  
として設立

リコーグループの販売支援として  
リース会社を設立・営業開始

**1984年**  
『リコーリース』に  
社名変更

事務用機器のリース  
取引が中心となった  
ため社名変更

**1996年**  
東京証券取引所  
市場第二部に  
株式を上場



**2000年**  
医療分野向け  
サービスの開始

## 売上高 (億円)

3,000

2,000

1,000

0

77/3

80/3

85/3

90/3

95/3

売上高  
1,000億円  
突破

現在はCSR推進室として活動継続中!!

2003年10月

環境・社会貢献  
推進室設立

2004年 CSR ↑

ピンクリボン活動開始

現在も継続中



2005年 CSR ↑

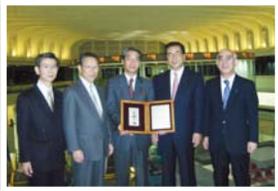
富士山緑化活動開始

現在も継続中



2001年

東京証券取引所  
市場第一部に指定



2005年

テクノレント(株)  
(現・連結子会社)の  
株式を取得

2006年

金融サービス  
事業部設立

融資と手数料ビジネスを  
中心に事業拡大



2011年

介護報酬ファクタリング  
サービスの開始

2008年

豊洲オフィスに移転(現・本社)



2002年

リクレス債権回収(株)  
(現・連結子会社)を設立

売上高  
2,000億円  
突破

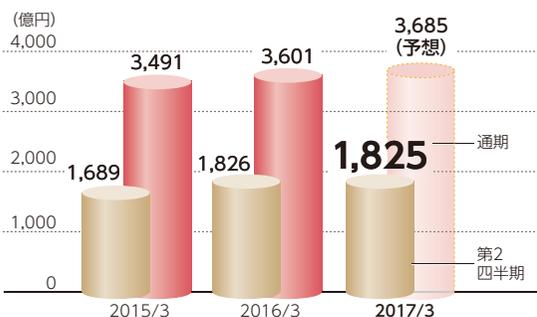
当期純利益  
50億円  
突破

当期純利益  
100億円  
突破

当期純利益  
(億円)



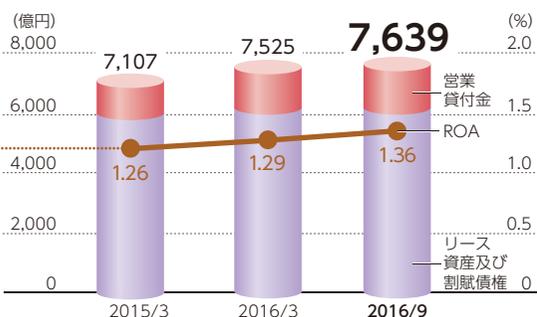
## ■ 取扱高



前年同期比 **0.1% 減** ↓ **高水準を維持**

主力分野である事務用・情報関連機器は、大企業の設定投資抑制から低調だったものの、環境関連機器や車両・輸送用機器が伸長しました。取扱高は1,825億円と前年同期比0.1%減少となりましたが、前期の過去最高値に次ぐ高い水準となりました。

## ■ 営業資産残高



前期末比 **114 億円増** ↑ **高いROAを実現**

取扱高が高水準で獲得できたことで、営業資産残高は前期末に比べ114億円増加の7,639億円となりました。貸倒率\*1が低く、収益性が高い優良な営業資産を積み上げることで、高いROAを実現しています。

### 用語解説

※1 貸倒率

貸倒損失額 ÷ 営業資産の平均残高

財務データを  
読み解くポイント

## 重要指標 ROAについて

### ROAとは?

**ROA (総資産当期純利益率) = 当期純利益 ÷ 平均総資産**

ROA (Return on Assets) とは、事業に投下されている資産がどれだけ利益を創出したかを示し、事業の効率性と収益性を同時に示す指標です。

### リース業界にとってのROA

リース会社は、金融機関からの借入などによって調達した資金で機器を購入し、お客様にリースを行うことで利益を得ています。ROAが高いということは、同額の資産でより多くの利益を創出し、財務体質が強固であることを意味します。当社は、リース業界のなかでも高いROAを維持しています。

同額の資産で  
より多くの利益



### ■ リース会社 ROA比較

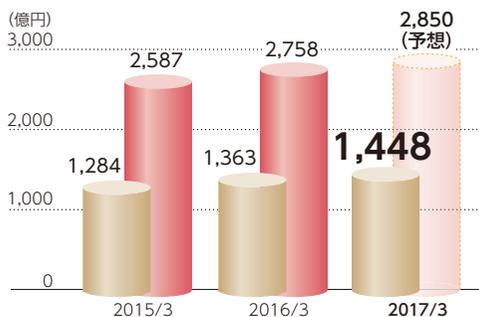
平均	0.95%
最大	1.29% ←
最小	0.41%

リコーリース	1.29% ←
--------	---------

上場リース7社 2016年3月期 当社調べ



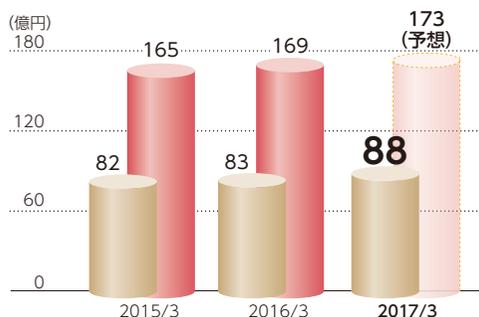
## ■ 売上高



前年同期比 **6.3%**増 ↑ **7期連続の増収**

売上高は、前年同期比6.3%増加の1,448億円と、7期連続の増収となりました。リーマン・ショック以降取扱高が増加し続けていることで、リース料収入・割賦売上高が増加しました。

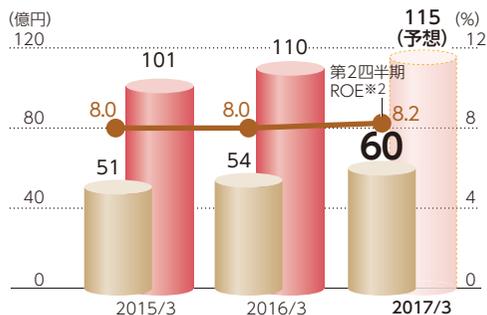
## ■ 営業利益



前年同期比 **5.3%**増 ↑ **3期連続の増益**

営業利益は、前年同期比5.3%増加の88億円と3期連続の増益となりました。貸倒費用は増加したものの、リース・割賦事業や金融サービス事業の収益が順調に増加したことに加え、資金調達費用の減少が増益に寄与しました。

## ■ 当期純利益



前年同期比 **9.6%**増 ↑ **過去最高を更新!**

四半期純利益は、前年同期比9.6%増加の60億円と2期連続で過去最高を更新しました。通期予想は期初計画通り115億円と過去最高を更新する見込みです。

### 用語解説

※2 ROE(自己資本利益率)  
当期純利益÷平均自己資本

## ■ キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位: 億円)	
	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	194	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14	28
現金及び現金同等物の増減額	175	△30
現金及び現金同等物の四半期末残高	181	4

営業活動によるキャッシュ・フローは、49億円の支出となりました。前年同期は祝日の関係で預り金が9月末に残り収入増となりましたが、当期は取扱高が順調に増加したことで、リース物件など営業資産の購入が増えました(支出増)。一方、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金が増加し、28億円の収入となりました。

## ■ 事業別業績

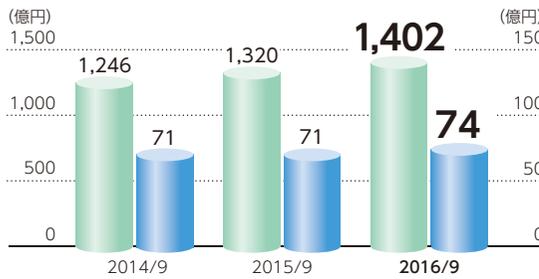
### [リース・割賦事業]

#### ポイント

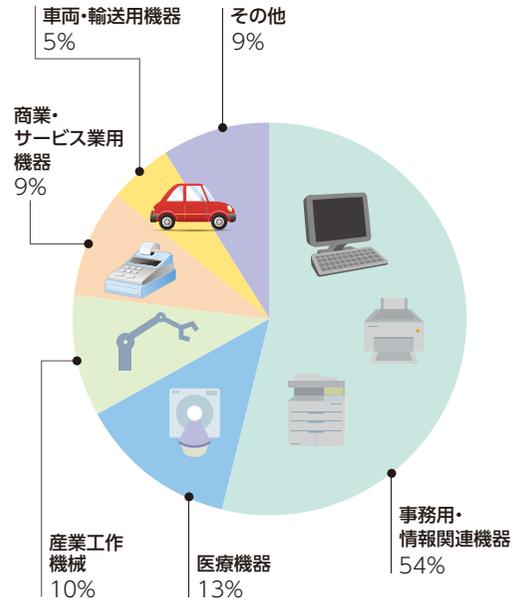
- 売上高・営業利益で、増収増益を達成
- 取扱高は前年同期比2.1%の減少
- 環境関連機器や車両・輸送用機器の取扱高は伸長

取扱高 **1,652**億円 / 前年同期比 **2.1%減** ↓

売上高(左軸) 前年同期比 **6.2%増** ↑  
 営業利益(右軸) 前年同期比 **5.4%増** ↑



### [分野別取扱高構成比]



⇒リースに関する記事はP11-12 特集①へ

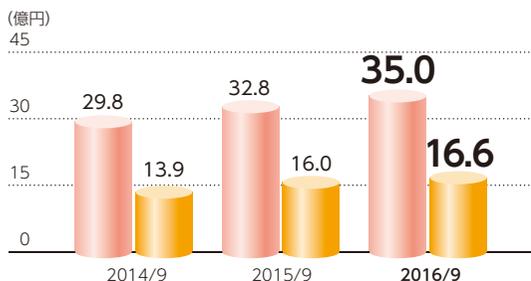
### [金融サービス事業]

#### ポイント

- 売上高・営業利益は、11期連続で増収増益
- 住宅関連および法人向け融資の取扱高が大幅に伸長
- 集金代行サービスなどの手数料ビジネスも順調に推展

取扱高 **172**億円 / 前年同期比 **24.2%増** ↑

売上高 前年同期比 **6.9%増** ↑  
 営業利益 前年同期比 **3.4%増** ↑



営業資産残高(2016年9月末)  
1,167億円

前期末比6%増加



月間取扱件数(2016年9月)  
144万件

前年同期比10%増加



取扱高(第2四半期)  
291億円

前年同期比34%増加

⇒集金代行サービスに関する記事はP13-14 特集②へ



このコーナーでは株主の皆様からのさまざまな疑問にお答えします。

## リース契約期間終了後のリース物件はどうなるの?

リース物件とは、お客様との契約に基づきリース会社が購入した機器で、所有権はリース会社にあります。今回はリース契約期間が終了したリース物件の手続きについて解説します!

### ■リース契約期間終了後の手続き

リース契約は契約期間が定められていますが、期間終了日を迎えることをリース満了といえます。当社では、リース満了したリース物件について、以下のフローに従い、適切な手続きを行っています。

①リース満了の2ヵ月前にお客様へ「満了のご案内」を送付し、リース満了が近づいていることをお知らせします。



②お客様がリース物件の使用を継続される場合には再リースとなり、1年単位で契約を更新することができます。



③リース物件の使用を継続しない場合は、リース物件をご返却いただきリース終了となります。



### ■リース終了後の物件処分方法

ご返却後のリース物件は委託業者に売却され、主に2つの方法で処分されます。

#### リユース(再使用)

一旦使用された製品を回収し、適切な処置を施しつつ製品として再使用する、または使用可能な部品を取り出し再利用すること



#### リサイクル(再資源化)

一旦使用された製品を回収し、原材料として利用すること



### [ 資産営業部の紹介 ]

資産営業部では、リース終了となる物件を確実に回収し、適法・適正に処分するための仕組みを立案・管理しています。当社のリース物件は多様化していますが、各々のリース物件に最適な処分を行うことで、リユース(再使用)やリサイクル(再資源化)に貢献しています。

#### 若手のホープ



リース物件の回収・売却手続きを担当しています。業務を行う上では、迅速かつ的確な対応はもちろんですが、リース物件を適切に処分するために必要となる知識を蓄積することにも心がけています。

資産営業部 滝田 陽平

特集 1

# 事業領域の拡大に向けた 事業開発部の新設

リース・割賦事業における事業領域の拡大に向けた取り組みをご紹介します。

1976年の設立以降、当社は事務用・情報関連機器を中心にリース・割賦事業の拡大を図ってきました。2000年以降は、医療分野や環境関連分野等へ領域を広げてきましたが、今後のさらなる成長のためには、新たな事業領域の構築が必要不可欠です。

そこで当社は、将来性のある新たな業種・業界における商材開拓やリコグループとの協業による新しいマーケットの開拓を加速させるため、2016年10月に「事業開発部」を設立しました。今回は、事業開発部のマネージャーに着任した滝田に話を聞きました。

新しい分野の商材や市場の開拓は、今後の事業成長の鍵を握ります。新たな商材探しで重要なことは、商材の市場価値や将来性の的確な評価、長年培ってきた販売支援リースのノウハウの活用だと考えています。また、既存の発想にとらわれない新たなファイナンススキームへの挑戦が市場の開拓につながります。

私は、事業開発部の前身である新規事業開発室で、新規ベンダー（販売会社）や商材の開拓営業に携わりました。その経験から、ベンダーの販売力と当社のファイナンス力をかけ合わせれば、事業領域拡大の余地が大いにありと実感しました。

事業開発部においてもベンダーの課題や要望に応じた最適なサービスを提案・提供し、開拓活動を推し進めることで当社の業績に貢献できるよう、部員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

【プロフィール】 IT推進室、千葉支社、営業統括部を経て2015年7月より事業戦略部・新規事業開発室で新規ベンダーや商材の開拓に携わる。2016年10月、新設の事業開発部に異動。

【モットー】 お客様の相談には真摯に耳を傾ける  
難しいことでも諦めずできる限りやり尽くす

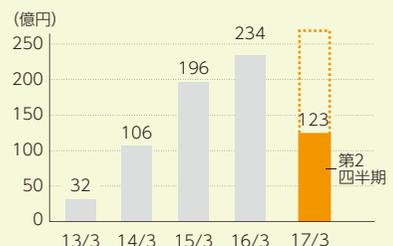


事業開発部 営業二課  
マネージャー  
滝田 健太郎

## 環境関連分野へ注力、新たな商材を開拓中

当社では、太陽光をはじめとした再生可能エネルギー設備、LED照明などの環境関連分野にも注力しています。2016年3月期では234億円の実績となり、中期目標の200億円を前倒しで達成しました。今後も市場のニーズを見据え、新たな商材にもフィールドを広げていきます。

● 環境関連分野の取扱高推移





## お取引先インタビュー

新規商材で取引を開始した  
販売会社の方にお話をうかがいました！

### 株式会社りょうしん メンテナンスサービス様

取締役社長 清水 拓也 様 (右)  
専務取締役 戸田 智之 様 (左)



#### Q 事業内容とリコーリースとの取引のきっかけについて

当社は、太陽光発電システムのメンテナンスを主力事業としていますが、新たに廃棄物処理機「GLIESE BOX」の開発、販売を開始しました。お客様の初期導入コストの負担を軽減するため、販売当初からリースでの取引を想定していましたが、リコーリースの環境商品に関する高い専門性と、柔軟な対応力に惹かれ、取引を始めさせていただきました。

#### Q 今後、リコーリースに期待することは？

協業する上では、商品価値を理解し、共感していただけることが重要であると実感しています。「GLIESE BOX」は市場も確立していない駆け出しの商品ですが、優位性を即座に評価してくださったリコーリースの協力を得ることで、販売を拡大し、共に利益を生み出しながら成長できると確信しています。また今後も環境価値の高い商品・サービスを開発していきますので、新たなビジネスにもご支援をいただきたいと思います。

グリーゼボックス

### 「GLIESE BOX」って何ですか？

#### 低コストで環境に配慮した「廃棄物処理機」です

石油、石炭、天然ガスは使用せず電力で稼働するため、燃料を購入する必要がなく、廃棄物の処理費用を大幅に削減できます。また廃棄物を無害なセラミックに加工するため、臭いも煙もなく、環境に優しいことが特長です。介護施設での紙オムツや医療用廃棄物(金属を除く)、水分の多い生ごみなど、あらゆる廃棄物の処理が可能で、さまざまな業界の方から反響があります。



製造中の「GLIESE BOX」

特集2

# リコーリース 集金代行サービスについて

お客様の業務効率向上に貢献する  
当社の集金代行サービスの内容と実績についてご紹介します。

## 『集金代行サービス』とは？

集金代行サービスとは、金融機関やコンビニエンスストアなどのネットワークを活かし、お客様の集金業務を代行するサービスです。集金にまつわる業務の手間、人件費や交通費などのコスト、紛失リスクを軽減したいというお客様のご要望にお応えすることができます。

当社のサービスは、専用WEBサイトを使用します。インターネット環境が整えば誰でも利用でき、安心してご利用いただけるように十分なサポート体制をとっています。

## リコーリースの集金代行サービスの歩み

当社が集金代行サービスを始めたのは、設立間もない1984年です。複写機のリースをご利用のお客様から機器のリース料金と一緒に、メンテナンス料金を販売会社に代わって回収するサービスを中心に行っていました。当時は集金データの情報をやりとりする専用端末の購入が必要でしたが、インターネットが普及し、専用WEBサイトを活用することで、より安価にサービスが提供できるようになりました。2005年以降は学習塾の月謝や介護サービス利用料金など複写機関連以外のさまざまな売掛金の回収を代行するサービスを本格的に開始しました。

2016年9月の集金代行サービスの取扱件数は144万件となり、10,000社以上のお客様の集金業務を担っています。



### お客様の集金の

業務の  
手間

人件費・交通費  
コスト

紛失  
リスク

を軽減

### このようなお客様にご利用いただいています！



学習塾



各種スクール



不動産賃貸



介護サービス

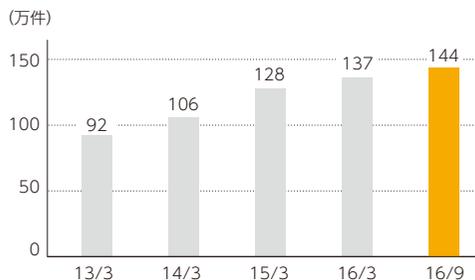


宅配サービス



同窓会、OB・OG会

### ● 集金代行月間取扱件数



導入実績10,000社以上



## お客様インタビュー

実際に集金代行サービスをご利用いただいているお客様へお話をうかがいました！

### けいおう株式会社様

総務部経理人事課 係長  
野宮 健市 様



Q

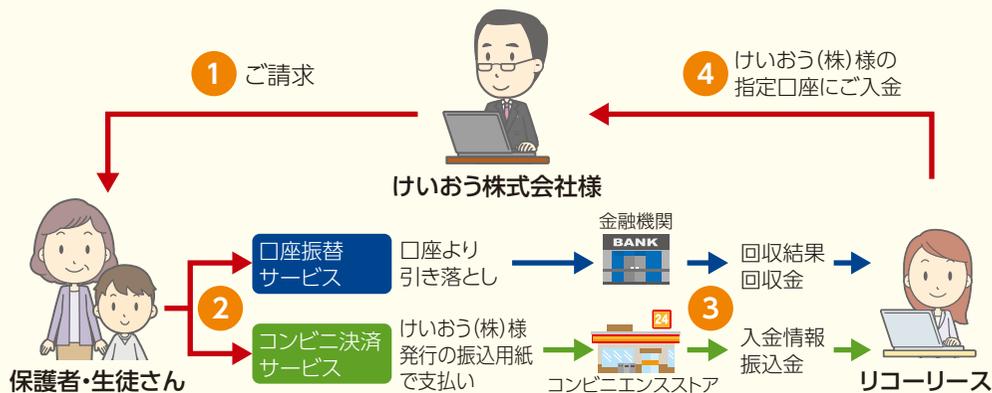
#### 事業内容と集金代行サービスの申し込み経緯について

当社は、首都圏を中心に小中学生向けの学習塾を運営しています。以前は各教室の先生が生徒さんから月謝を現金回収していましたが、紛失リスクが伴うため、月謝の集金代行を請け負ってくださる業者を探していました。リコーリースに決定した理由は、信頼できる会社であると感じたことと、ホームページに操作方法がわかりやすく掲載されていたことです。

Q

#### どのようにサービスを利用していますか？

口座振替・コンビニ決済の2つのサービスを利用しています。通常の月謝は「口座振替サービス」を、短期講習のみの場合は「コンビニ決済サービス」を利用しています。



Q

#### サービス利用後の感想を聞かせてください

集金代行サービスにより月謝の回収率が向上し、教室ごとのデータ集計が効率的になり、経理業務が大変楽になりました。また、保護者の方からは、「子どもに現金を預けなくてよくなった」と好評です。教室の先生からは、「教えること以外の付帯業務が少なくなった」と言ってもらえるようになりました。



# IRひろば 株主の皆様とのコミュニケーションページです

## 2016年6月15日 第40回定時株主総会を開催しました

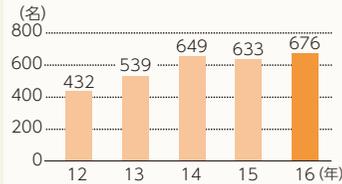
### 開催場所

ホテルイースト21東京 1階  
イースト21ホール

### 所要時間

53分

### ●出席者数推移



### Topic.1

## 株主の皆様とのコミュニケーションの場を設置

### ■ 株主懇談ブース

株主の皆様からのご要望にお応えし、社員と直接コミュニケーションを図る場として4つのテーマで株主懇談ブースを設置しました。

### テーマ

- ・私の仕事
- ・会社内の雰囲気
- ・女性社員の活躍
- ・環境・社会貢献への取り組み



株主懇談ブース「女性社員の活躍」

### ■ パネル展示

『株主優待』、『配当金』パネルのほか、主力事業の1つである金融サービスについての紹介パネルも展示しました。



会場入口前のパネル展示

### Topic.2

## エコ総会の実施

「招集ご通知」の印刷・郵送や会場で使用される電力、来場される株主の皆様のご移動(利用される交通機関)など、株主総会の開催にあたって発生する温室効果ガス(=CO<sub>2</sub>)の排出量を推定し、オフセット※しています。



株主総会のカーボン  
オフセット証明書

クールビズも  
導入しています!



※温室効果ガス削減活動を行う事業者に対して、排出した量に見合った投資を行い、排出量を埋め合わせすること

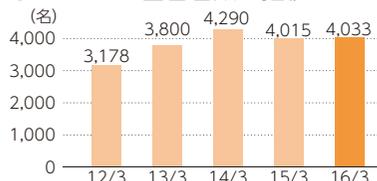
## 株主アンケート結果のご報告



2016年3月期  
「事業のご報告」

2016年3月期「事業のご報告」を発行後に実施した株主アンケートでは、4,033名(回答率20.8%)の株主の皆様からご回答をいただきました。皆様からいただきました貴重なご意見・ご要望は、今後の経営やIR活動の参考とさせていただきます。アンケートの集計結果と、主なご意見の一部をご報告させていただきます。

### ●アンケート回答者数の推移



### ●興味を持って読まれた内容(複数回答)

中期経営計画	42%
教えて！リコーリース	39%
連結業績のご報告	36%
トップメッセージ	36%
会社情報・株主情報	29%
IRひろば	27%
特集② 金融サービス事業	25%
特集① リース・割賦事業	22%
RL-Info	15%
CSRトピックス	8%
両面表紙	8%

### ●自由記述(一部)



グラフや表、適度な字の大きさ、すっきりした色使いといい、とても読みやすい報告書でした。(50代女性)

財務の見方についてとてもわかりやすかったです。今後も簡単な解説があると大変助かります。(30代男性)

⇒『財務データを読み解くポイント』はP7へ



特集のような、取引先を紹介しながらの記事は具体的でわかりやすいです。(50代男性)

⇒特集に関する記事はP11-14へ



もっと詳しく知りたい方はコチラ！

株主総会や株主アンケート結果の詳細は、ホームページでご覧いただけます。

リコーリース IR 検索  
トップページ IR情報 [www.r-lease.co.jp/ir/](http://www.r-lease.co.jp/ir/)

#### 株主総会

株主総会の様子は動画でご覧いただけます。



#### 株主アンケート

株主アンケートの詳細結果、自由記述に対する当社からの回答がご覧いただけます。



# CSR トピックス



## 健康経営の推進と『健康宣言』の発表



当社では、「社員一人ひとりを尊重し、豊かさの充実に努め、いきいきと働ける環境をつくる」という基本姿勢のもと、『健康宣言』を発表し、健康経営を推進しています。社員の健康維持増進に向けた「ノー残業デー」の実施、年6回の「記念日休暇制度」による有給休暇取得の推進などさまざまな取り組みを実施し、健康でメリハリのある働き方ができる労働環境の実現を目指しています。



### 健康宣言

- 社員一人ひとりがリコーリースの財産です。
- 社員一人ひとりの健康は、自身の幸福の基盤であり、リコーリースの発展の基盤でもあります。
- リコーリースでは社員一人ひとりが主体的に健康維持増進を図り、会社は安全・健康・快適な職場（環境）の実現を図ります。



#### 活動報告

#### 生活習慣病予防のための「健康セミナー」を開催



血液画像診断で健康チェック

当社では、生活習慣病予防のための「健康セミナー」を毎年開催しています。血液画像診断や歯科保健指導、体組成測定など一般的な健康診断では実施されない検査に加え、専門スタッフから生活改善に関するアドバイスを受けるなど、社員が自身の身体と向き合える時間を設けています。



#### TV出演報告

#### TV BSジャパン出演 ～リコーリースの健康経営～

8月2日放送の「日経モーニングプラス」に、人財本部長 山田裕治がゲスト出演しました。“女性社員が健康で活躍できる職場へ、リコーリースの健康経営”をテーマに、社員が100%の力を発揮するための健康経営の方針や、女性社員の活躍に向けた取り組み事例などを紹介しました。



健康情報Goodayコーナーに出演

#### 用語解説

CSR: C(Corporate: 企業の) S(Social: 社会的な) R(Responsibility: 責任) のこと

会社概要

商号	リコーリース株式会社 (RICOH LEASING COMPANY, LTD.)
資本金	7,896百万円
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:8566)
従業員	928名(連結)
設立	1976年12月
事業内容	リース・割賦事業 金融サービス事業
財務局ナンバー	関東財務局長(11)第00286号

役員

取締役		執行役員	
代表取締役	瀬川 大介	社長執行役員	瀬川 大介
取締役	吉川 淳	常務執行役員	吉川 淳
取締役	眞鍋 求	常務執行役員	眞鍋 求
取締役	戸谷 浩二	常務執行役員	清見 純子
取締役	佐藤 邦彦	執行役員	戸谷 浩二
社外取締役*	志賀 こず江	執行役員	武藤 裕文
社外取締役*	瀬戸 薫	執行役員	中村 徳晴
		執行役員	高木 明人
		執行役員	山田 裕治
		執行役員	佐野 弘純

監査役

常勤監査役	石黒 一也
社外監査役*	百武 直樹
社外監査役*	徳嶺 和彦

\*印を付した取締役・監査役は株式会社東京証券取引所の定める独立役員です

営業拠点

北海道から沖縄まで、  
リコーリースは日本全国をカバーしています

北海道	札幌/旭川
東北	仙台/盛岡
関東	東京(本社・テクノレント)/立川/横浜 千葉/さいたま/宇都宮/水戸
中部	名古屋/静岡/金沢
関西	大阪/神戸/京都
中国・四国	広島/岡山/高松/松山
九州	福岡/熊本/那覇

各営業拠点の連絡先は、HPをご覧ください

リコーリース 事業所一覧

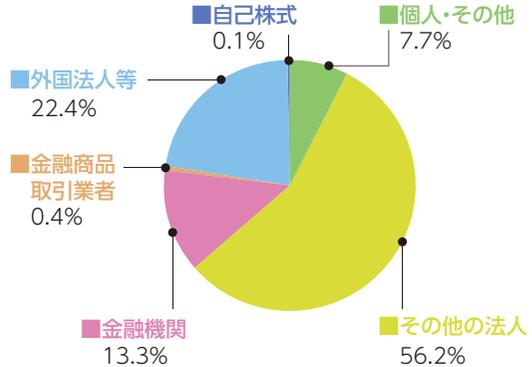
[トップページ](#) [企業情報](#) [事業所一覧・地域展開](#)

[www.r-lease.co.jp/info/company/index2.html](http://www.r-lease.co.jp/info/company/index2.html)

株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,243,223株
株主数	19,184名(単元株主数 14,752名)
単元株式数	100株

【株式分布状況】



大株主上位10名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社リコー	16,540	53.0
全国共済農業協同組合連合会	1,233	4.0
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	1,070	3.4
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	826	2.6
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	659	2.1
コカ・コーラウエスト株式会社	502	1.6
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	464	1.5
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	404	1.3
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	401	1.3
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	374	1.2

\*持株比率は自己株式(26,565株)を控除して計算しています

株主メモ

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 ☎0120-782-031

株式に関する住所変更など  
のお届出及びご照会について

証券会社に口座をお持ちの場合 ▶ お取引の証券会社にお申し出ください  
特別口座の場合 ▶ 上記三井住友信託銀行にお申し出ください



《表紙写真は180度見開きでご覧いただけます》



紅葉の隙間からさしこむ優しい木漏れ日に心癒される空間をリコーのカメラで撮影しました。



最新の製品情報はHPをご覧ください



[リコーイメージング](#)

[検索](#)

リコーリース株式会社 [ 証券コード：8566 ]

〒135-8518 東京都江東区東雲1-7-12 [www.r-lease.co.jp/](http://www.r-lease.co.jp/)

お問合せ先：経営企画部 TEL：03-6204-0608 E-mail：ir@rle.ricoh.co.jp

《本冊子は環境に配慮した製本方法を採用しています》



★各マークの詳細はHP内の事業報告書ページをご覧ください